

# 研修員's VOICE

Vol. 37

世界各国からJICA沖縄にやって来た  
研修員を紹介しています。

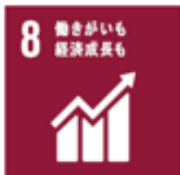
2021年3月4日、2019年度に来日した青年研修フィリピン アグリビジネス／アグリツーリズムコースの研修員19名を対象に、ウィズコロナ時代を生き抜くための知恵の共有を目的に遠隔フォローアップセミナーを開催しました。

セミナーでは、日本／沖縄／フィリピンのコロナ禍における観光対策やニューノーマルでの取り組みが共有されたほか、帰国研修員による活動報告と意見交換を行いました。コロナ禍でも研修の成果や新しいアイデアにより、様々な活動を実施している3人の帰国研修員の取り組みを紹介します。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



持続可能な開発目標（SDGs）とは、「誰一人取り残さない-No one will be left behind」を理念として、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針で、17のゴールが設定されています。JICAはSDGsの達成に向けて積極的に取り組み、17のゴールに貢献する研修を実施しています。

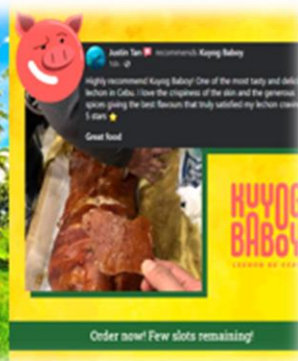
## #Make Farming Cool Again

カナーン農業生計コミュニティ最高執行責任者のケイさんは、#Make Farming Cool Againをモットーに、地元農家と協力し持続可能な農業に取り組んでいます。野菜の二毛作や放し飼いの家畜と焼き豚ビジネス、在宅生活を考慮したインスタ映えする屋内植物の販売等、様々な活動を行っています。

今後は、キャンプ場やグランピングの運営、それに伴うツアーガイドの養成などを計画しており、地域と農家への貢献を継続していきます。



ケイさん



焼き豚事業のチラシ

## 食品MOVEイニシアティブ

アグレア農業システムインターナショナル 農業経営部長のベンジョーさんは、一般家庭やコロナ禍の最前線で活動する人々に農作物を届ける「食品MOVEイニシアティブ」を実施し、食料確保と生産者の支援を行っています。また、沖縄の研修で視察した農産物販売所ハッピーモア市場や育苗技術をヒントに、農産物の加工品（ソースやジャム、ピクルス等）の販売や、土や育苗方をセットにした野菜生育キットの販売にも取り組みました。農作物の取扱量は以前より飛躍的に伸び、コロナ禍においても売上の増加につながっています。



ベンジョーさん

農作物の加工品

## コロナ禍における観光

ナガ市の観光担当官アレクさんは、安全安心な観光のために、市による公衆衛生基準の定期的なモニタリング、QRコードでの接触追跡システム、観光客用の入域プロトコル（到着前72時間以内のPCR陰性証明提出）、施設の安全を担保する観光認証（we are safe）などに取り組んでいます。

ウィズコロナ時代の観光は、観光客数を指すのではなく、少ない観光客で以前と同等の収益を上げるために、量から質への転換が必要です。同時に世界のコロナ対策を学び、経済回復のためのビジネスツールの開発や感染拡大防止対策が、持続可能な観光にとって重要だと考えます。



宿泊施設のモニタリングを行うアレクさん(左)